

10/31 鶴城地区（八ツ面・鶴城） 平成29年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
1	学校給食センター新設に伴う今後の運営方針 〔八ツ面〕	<p>【質問】</p> <p>旧西尾市内においては、長年にわたり自校方式の給食が実施されてきました。手作り感あふれる温かい給食が実施され、また各校独自の献立も計画できるなど、子どもたちにとって大きなメリットがあります。</p> <p>一方、旧三町においては、センター方式の給食が実施されています。保育園、小学校、中学校の給食を同時に調理するため、中学生が保育園児用に細かく調理された献立で食べているという現状があります。</p> <p>このように旧西尾市と旧三町では給食提供体制が異なり、子どもの栄養バランスに問題があるのではと思います。</p> <p>現在、給食センターの建設が計画されているようですが、市内の子どもたちの公平性という観点からこのことをどのように考えているかお聞かせください。</p>	<p>西尾市の給食の調理方式は、自校・自園方式とセンター方式があります。献立は、栄養価も含めその内容は文部科学省が定める学校給食実施基準で決められている学校給食摂取基準に基づき、栄養教諭・栄養職員が作成し、市の献立委員会で話し合われ決定しています。</p> <p>したがって、自校方式、センター方式ともに、基本的にはほぼ同じ内容で提供しています。</p> <p>また、保育園給食については、保育園給食の基準に沿った献立で給食やおやつを提供しています。センター方式の給食については、学校と同じ施設で調理していますが、食材の切りかたや味付け等は幼児向けに作っています。</p> <p>このように、栄養バランスや献立について、自校・自園方式とセンター方式に優劣はなく、公平性が保たれていると考えています。</p> <p>調理方式については、統一することが理想的であると思いますが、今後、学校施設の個別施設計画を策定する予定ですので、その際に、費用対効果も踏まえて検討していきたいと考えております。</p> <p>なお、給食センターの建設計画については、老朽化による建て替えが急務となっていることから、進めているものです。</p>	教育庶務課 子ども課
2	市民ギャラリー施設の今後の計画 〔八ツ面〕	<p>【提案】</p> <p>西尾市には、市民ギャラリーがありません。岩瀬文庫のミニギャラリーは、個人で使用する場合には何とか使えますが、複数または団体で使用するには狭すぎます。</p> <p>また、西尾市文化会館の会議室は、スポットライトが無いなど設備が悪くて使用料が高いです。ちなみに安城市民ギャラリーの展示室と比べると使用料は倍以上となります。そのため、私の写真仲間は写真展を安城市で行っています。</p> <p>そこで提案ですが、岩瀬文庫のミニギャラリーへの通路と東側の休憩室をギャラリーに改造しませんか。</p> <p>また、西尾市文化会館の会議室の一部をギャラリーに改造して、料金も安く見直しませんか。西尾市も芸術・文化の振興をもっと図るべきと考えます。</p>	<p>岩瀬文庫休憩室は、文化振興課刊行物等の重要な販売所であり、来館者や公園利用者の憩いの場でもあります。また、通路は非常時の避難路という大切な機能を持った場所であるため、改造は考えておりません。</p> <p>しかしながら、文化会館は、築35年以上経過しており、いずれ大規模な改修が必要と考えていますので、改修の際に検討してまいります。</p>	文化振興課
3	市内防犯灯の全LED化 〔鶴城〕	<p>【提案】</p> <p>知立市は、市内3,300か所の防犯灯のLED化を実施しました。同時に、管理業務を町内会から市へ移管しました。</p> <p>また、初期投資についても、業者とリース契約をするなどして減らしました。新聞報道によりますと、知立市は、これらにより総合的に約1,000万円以上の経費削減の効果を上げました。</p> <p>そこで、西尾市でも防犯灯を全てLED化するよう提案します。現状では、町内会、危機管理課ともに、防犯灯のLED化の申請事務に手間をかけていると思われます。</p>	<p>西尾市では、今年3月末現在、町内会管理の防犯灯は10,675基ありまして、そのうちLED化されていないものが6,690基あります。</p> <p>防犯灯に関しましては、地域の安全は地域で守るとの観点から、町内会の皆さまのご協力を得ながら進めることとし、今のところ市での一括管理は考えておりませんが、LED化の進展は図ってまいりたいと思っております。現在、本市におきましても、ご案内いただいた知立市の例も参考にしながら、リース契約の方法や経費の比較、申請事務を含めた事務効率などの様々な視点から、より良い制度の再構築を検討しております。</p> <p>地域の防犯につきましては、今後とも、町内会の皆さまのご協力をお願い申し上げます。</p>	危機管理課

10/31 鶴城地区（八ツ面・鶴城） 平成29年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
4	市広報紙の全世帯配布の検討 〔鶴城〕	<p>【要望】</p> <p>現在、市内400余りの町内会長が、年間24回の市広報紙を配布しています。この業務を市から業者に委託することで、町内会長が本来の町内活動に専念できるようにしていただきたいと思ひます。</p> <p>理由の1つ目としては、町内会非加入世帯が増加傾向にあり、町内会から配布していない世帯が増えています。単純計算で18パーセント、2世帯同居を考慮しても9パーセントが町内会に非加入です。</p> <p>2つ目としては、西尾市広報や選挙公報などの広報は、地方自治法の定めにより「市が報知」すべきところ、漏れが常態化しています。</p> <p>3つ目としては、近年、いずれの町内会も会長の選出に苦勞しています。負担軽減のため、町内業務のスリム化を図る中で、定期的に拘束される配布業務を市が業者に委託する方向にもっていきたいと考えます。</p> <p>これらのことから、東京近郊の市の過半数が実施している「シルバー人材センターによる広報配布」を方法として試みてはどうでしょうか。</p>	<p>広報にしおの配布につきましては、限られた時間で広範囲に配布しなければならないため、自動車の使用が不可欠となります。しかし、シルバー人材センターが有償で同センター又は同会員所有の自動車を使用して配布する場合は、貨物自動車運送事業法が適用され、国土交通大臣の許可（一般貨物自動車運送事業）又は届出（貨物軽自動車運送事業）が必要となります。その許可基準（営業所、休憩・睡眠施設、車庫、車両、運行管理体制、資金計画等）について、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が「許可基準等を満たすことは困難」との見解を示していることから、本市にあるシルバー人材センターが許認可を取得することは難しいと思われまひます。したがひまして、シルバー人材センターを活用しての広報紙の配布は困難と考えております。</p> <p>町内会長様に広報紙の配布をはじめ、市政に関する伝達事項の周知をお願いすることで、地域の方々と顔の見える関係をつくり、地域における異変をいち早く察知していただけるなど、地域の安全・安心な暮らしにつながると思ひます。したがひまして、引き続き委託をお願いしたいと思ひますので、町内会長様にはお手順をお掛けし、大変申し訳ございませんが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	秘書課
5	市民の遊歩道や子どもの安全な遊び場の拡大 〔鶴城〕	<p>【提案】</p> <p>平成29年度施政方針の「安全とうるおいのある環境づくり」細目に「市民が憩う公園、緑地の整備」があり、その中に岡ノ山遊ぼっ茶広場が4月にオープンとありました。</p> <p>以前から桜町町内会として、市に対して「明治用水の遊歩道化」を提案していますが、管理者が愛知県であり大変難しいようです。</p> <p>場所は、西尾高校の北側と中京テレビハウジング西尾の間にある水路になります。安全面でも心配するところですが、通年、水も少なく、6月頃には雑草が生い茂り、蚊や蛾などの害虫が発生して環境面でも大変悪い状況にあります。市には、浚渫と草刈りを実施してもらっていますが、一時的なものとなっています。</p> <p>そこで、この明治用水を埋め立てて、お年寄りや子どもたちが遊べる遊歩道または広場にさせていただけるよう提案します。</p>	<p>平成27年度の市政懇談会でも同様なご要望をいただひておりますが、この水路は、明治用水が用水のパイプライン化を行い、残った水路は引続き雨水排水路として使うことから、市が管理をしているものです。</p> <p>大雨や集中豪雨時など新渡場町周辺の排水を受ける重要な水路であり、西尾市雨水排水基本計画上でも位置づけられている排水路でもあります。</p> <p>ご提案の水路の上部利用は理解できますが、水路をボックスカルバートなどで蓋をした水路に変え、上部を整備するには、水路本体の工事と用水管の補強や布設替えなどの費用に概算で2億円以上必要となる見込みのため、現状のまま管理していきたく思ひます。</p> <p>ただし、水路の形状を見直すなど、土砂の溜まりにくいよう検討したいと思ひますので、ご理解をお願いいたします。</p>	下水道整備課
6	西尾市方式PFI事業の今後の方針 〔八ツ面〕	<p>【質問】</p> <p>西尾市方式のPFI事業については、市民への説明が不足していると思ひます。PFI事業のメリット・デメリットと課題があれば教えてください。</p> <p>また、一部では既に事業が始まっていますが、市長が交代して、今後どのように変わっていくのですか。</p>	<p>PFI事業のメリットとしましては、民間の資金、経営能力、技術力などのノウハウを公共施設の建設・運営に活用することで質の高い行政サービスを提供できることとあります。デメリットでもあります。行政側としては契約等の事務手続が煩雑であること、民間側では企業集めや資金調達に労を要することなどが考えられます。</p> <p>市では、西尾市方式PFI事業の検証・見直しを行うため、平成29年8月10日に西尾市方式PFI事業検証プロジェクトチームを発足させました。10月1日には、それを発展する形で企画政策課内にPFI事業検証室を設置し、人員を拡充して検証見直しを進めております。必要に応じ、工事を一時中止させ事業検証をしまひりますので、検証結果が出るまで、お待ちいただきますようお願いいたします。</p> <p>また、市民への説明が不足しているというご指摘につきましては、今後、検証内容も含め、市民説明会の開催、広報にしおや市ホームページへの掲載などにより情報発信に努めてまいりますので、よろしく願ひいたします。</p>	企画政策課 PFI事業検証室

10/31 鶴城地区（八ツ面・鶴城） 平成29年度「市長と語る市政懇談会」意見・質問等一覧〔事前提出分〕

整理 番号	事前意見・質問等（題名） 〔 〕内は意見等の提出があった小校区	（内容）	【回答】	担当課
7	西尾市民病院の運営状況と今後の計画 〔八ツ面〕	<p>【質問】 西尾市民病院は、高齢化している市民にとって貴重な施設になってい ますが、昨今、運営状況が思わしくなく、西尾市の財政を圧迫し、存続 も難しいと聞いております。 そこで、市の負担額なども含めた西尾市民病院の運営状況と存続させ るための課題と今後の計画を教えてください。</p>	<p>市民病院の運営に際し、市民の皆さまにご心配をおかけし、大変申し 訳なく思っております。 まず、運営状況であります。ここ数年は、国の基準に基づき、市の 財政から15億円前後を負担しております。平成28年度決算に限って言え ば、更に、経営の安定継続のために、9億円の計24億円を市の財政から 負担しており、市財政に及ぼす影響も大きなものとなっております。 しかしながら、年間約4,000件の救急車受け入れ、市民の安全・安心 を守る機関として、市民病院は必要不可欠であると考えております。 市民病院を存続させるには、経営の健全化が課題となっております。 そのため、市民病院では、市民病院中期計画を策定し、更に、中期 計画の実行計画の位置付けで、市民病院改革プランを策定しました。 今後は、このプランに基づき、医師の確保、病棟の再編等を一つ一つ 進め、経営改善に努力するとともに、確かな技術と心のこもった対応 で、市民の皆さまに西尾市民病院にして良かったと思っていただけるよ う、努めてまいります。</p>	市民病院管理課